

# 5 事業創出活動 □ 公共経営分野

## アグリビジネス振興プログラムのご紹介

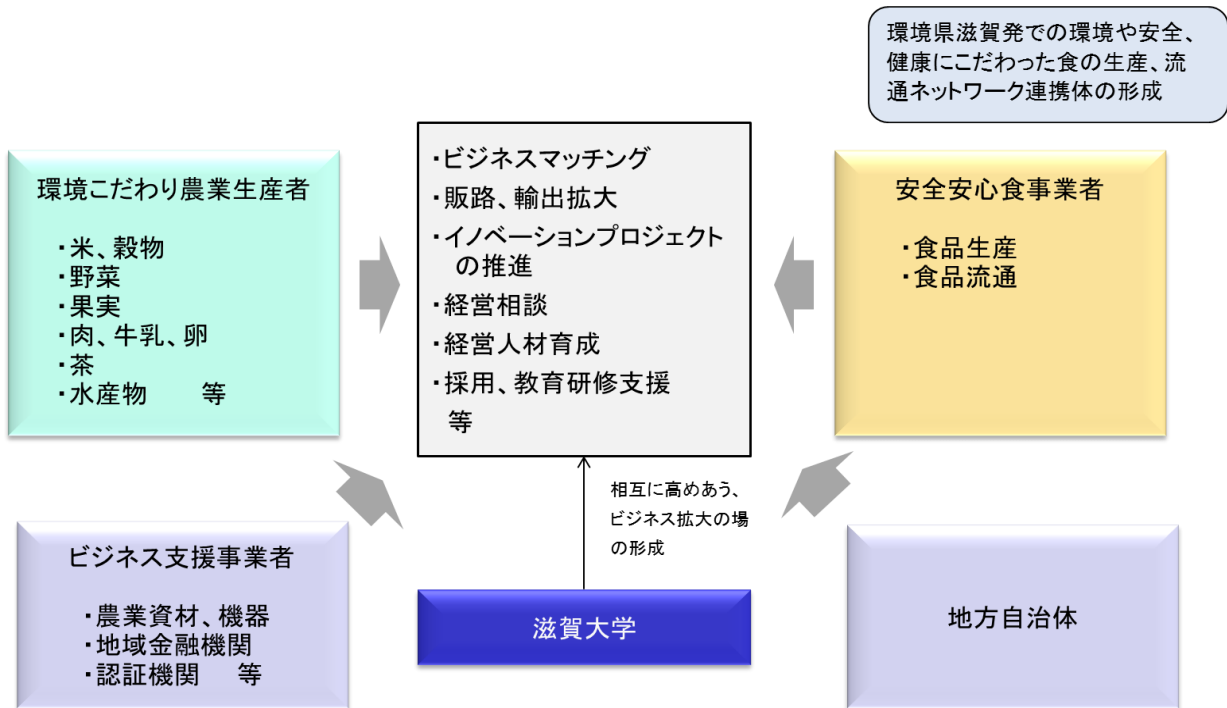
### 1. 趣旨

今後の成長産業の一つとして、アグリビジネスが注目されている。アグリビジネスとは、農林漁業を中心に加工、流通を含めた産業群をいう。農林漁業の生産額は約8兆円であるが、加工、流通を含めると約100兆円の市場となる。景気低迷が続く中で、企業は新たな事業を展開する市場を求めている一方で、農業市場はこれまでビジネス的な視点での運営が遅れ、耕作放棄地の再生や地域農業の活性化といった課題を抱えている。そこにビジネスの発想を持ち込み、新しい技術やノウハウを使うとともに、生産、加工、流通の連携を強めていこうというものである。

農林水産省も「六次産業化支援法」を策定し、将来の成長産業となるべく農林漁村の6次産業化を強力に支援している。滋賀県は都市近郊地域としてアグリビジネスへのポテンシャルは高い。アグリビジネスは、製造業、サービス業を補完する産業としておおいに期待される。

したがって、本プロジェクトは、1、2、3次事業者のネットワークを構築し、さまざまな連携を通じて、滋賀県及び周辺地域におけるアグリビジネス（農林水産物の生産、加工、流通や農山村地域におけるツーリズム、再生可能エネルギーの開発などを含むビジネス）の推進を支援することを目的としている。

【図表1 滋賀アグリビジネスネットワーク】



## 2. 2016(平成 28)年度の取組状況

### 1) 訪問調査の実施

農業法人や農業及び食関連企業等経営者 9 社への訪問ヒアリング調査を実施し、現状の課題と連携ニーズを把握した。昨年度までの 65 社を加えると、74 社への訪問ヒアリングを実施したこととなる。

【図表2 訪問調査実施企業】

NO	種別	企業、団体名	品目	所在地
1	生産法人・団体	農事組合法人つづらファーム	コメ、黒豆	彦根市
2	生産法人・団体	(有) 宝牧場	酪農、肉牛	高島市
3	生産法人・団体	ゆきの農園	コメ	東近江市
4	生産法人・団体	(株) スプレッド	植物工場 (レタス)	京都府亀岡市
5	生産法人・団体	(株) 木田屋商店 小浜植物工場グリーンランド	植物工場 (レタス)	福井県小浜市
6	生産法人・団体	(株) 福井和郷	植物工場 (トマト)	福井県高浜町
7	食品企業	カゴメ (株)	トマト、トマト加工品	愛知県名古屋市
8	食品企業	(株) たねや	和洋菓子	近江八幡市
9	流通	(株) セブン・イレブン・ジャパン	コンビニエンスストア	東京都

### 2) 滋賀大マルシェ(農産物直売市)の実施

「環境こだわり農業」や「環境こだわり農産物」について、特に若い世代に向けての認知を高めることを目的に、滋賀大マルシェを下記のとおり実施した。毎回、10店舗程度が出店し、多くの学生、教職員が生産者達との交流を楽しんだ。

【図表3 滋賀大マルシェ(農産物直売市)の実施概要】

<p>■開催日時: 平成28年5月13日(金)、6月10日(金)、7月8日(金)、10月14日(金)、11月11日(金)、12月2日(金) 11:30~13:30</p> <p>■場所 : 滋賀大学彦根キャンパス生協前広場</p> <p>■対象 : 滋賀大学学生、教職員、周辺住民</p> <p>■滋賀大マルシェの理念</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一. 学生や消費者に、環境や健康にこだわった農業や農産物を理解してもらう場です</li> <li>一. 商品の価値を伝える場です</li> <li>一. 知ること、見ること、買うことが楽しい場です</li> <li>一. さまざまな商品や売り方の試行実験の場です</li> <li>一. 学生も運営に関わり、生産者や農業ビジネスを学ぶ場です</li> </ul> <p>■出店者数: 各回10団体以内、農業団体、直売所、農業法人、企業、農家グループなど (滋賀県外からの参加も可)</p> <p>■出店物 : 環境こだわり農産物(認証取得済)、もしくは減農薬、有機農産物、同加工品、環境に配慮した商品。商品数は問いません。</p> <p>■出店料 : 無料(売上は出店者にすべて帰属)</p> <p>■出店方法: 大学よりテント、テーブルを用意、出店者は自由にディスプレイ</p> <p>■関連イベント: 利き野菜、アカベラコンサート、農家と語る会を随時実施</p> <p>■主催 : NPO法人彦根景観フォーラム・滋賀大学社会連携研究センター</p>
---

### 3) 滋賀大うちごはん農園の実施

「滋賀大うちごはん農園」活動は、自炊生活を楽しみたい滋賀大学生等に対し、共同で環境こだわり農業を実践し、自炊のレシピを学び、生きる力を高めてもらうことを目的としている。本活動は、都市型農園のビジネスモデルの試行としても位置付けている。農園は、滋賀大経済学部構内の遊休地にある。学生が農と食を実践的に学ぶ本活動は全国でも例がない取組である。

【図表4 滋賀大うちごはん農園の実施概要】

<p>場所: 滋賀大学キャンパス内の特設農園と四番町スクエアのキッチンスタジオ</p> <p>対象: 定員20名(学生、職員等、サークル仲間や家族での参加も可能、他大学の方も参加可能)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で畑を耕し、野菜を作ってみたい方</li> <li>・自炊生活を楽しみたい、うちごはんのレシピを増やしたい方</li> <li>・余暇を健康的に楽しみたい方</li> </ul> <p>内容: 毎月1回菜園プログラムを実施、季節ごとに料理プログラムを実施</p> <p>【菜園プログラム】キャンパス内の農園にて共同で野菜を栽培します。作付け計画、土づくり～収穫までを菜園インストラクターの指導のもとに有機栽培で実践。そのまま畑で料理します。</p> <p>【料理プログラム】季節ごとに、自分達でつくった採りたて野菜を使って、野菜ソムリエの指導のもとに本格的に調理&amp;試食。自炊のための調理技術、知識を学びます。</p> <p>費用: 全プログラム3,000円(実費相当、道具は用意)</p> <p>料理プログラムは実費としてその都度500円</p> <p>インストラクター: 西村 健之(菜園インストラクター、レイクサイドビジュ代表、滋賀大学客員研究員)          立花 尚子(シニア野菜ソムリエ、滋賀ベジクラブ代表、滋賀大学客員研究員)          石井 良一(滋賀大学社会連携研究センター教授)</p> <p>主催: 滋賀大学社会連携研究センター</p>
--

【滋賀大うちごはん農園スケジュール】

日程	プログラム
4月23日(土)	・オリエンテーション、農地整備、土づくり、夏野菜の定植、畑でごはん(10:00~13:00)
5月21日(土)	・看板づくり、農地整備、土づくり、夏野菜の定植、畑でごはん(10:00~13:00)
6月18日(土)	・自然農薬と有機肥料、栽培管理、秋野菜定植、畑でごはん(10:00~13:00)
7月16日(土)	・収穫、栽培管理、夏野菜収穫、秋野菜定植、畑でごはん(10:00~13:00)
8月20日(土)	・収穫、栽培管理、夏野菜収穫、秋野菜定植 【料理プログラム】夏の野菜を食べる(11:30~14:00)
9月17日(土)	・収穫、栽培管理、秋野菜収穫、冬野菜定植(9:30~10:30) 【料理プログラム】秋の野菜を食べる(11:30~14:00)
10月22日(土)	・収穫、栽培管理、秋野菜収穫、冬野菜定植、畑でごはん(10:00~13:00)
11月19日(土)	・収穫、栽培管理、秋野菜収穫、冬野菜定植、畑でごはん(10:00~13:00)
12月17日(土)	・収穫、畑じまい(10:00~11:00) 【料理プログラム】冬の野菜を食べる(11:00~14:00)、修了会

#### 4) 滋賀県農林水産業新ビジネス創造研究会への参画

滋賀県では、滋賀の農林水産業にかかる新しいビジネスを創出するため、産業の枠組みを超えた連携を図る「滋賀県農林水産業新ビジネス創造研究会」を発足した。この研究会では、交流会、セミナー、プロジェクト活動等を通じて、新しいビジネス創造を目指した活動を展開することとしている。

第1回研究会は2016(平成28)年11月28日(月)、第2回研究会は2017(平成29)年3月7日(火)に開催し、筆者はコーディネーターを務めている。今後、産官学金のネットワークを強め、新ビジネスの創造に貢献していきたい。

(文責 教授 石井 良一)